2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月４日

上 場 会 社 名　　ヤマシンフィルタ株式会社　　上場取引所　　東
コ ー ド 番 号　　6240　　URL　https://www.yamashin-filter.co.jp/
代　　表　　者　（役職名）　代表取締役社長執行役員　（氏名）　山崎 敦彦
問合せ先責任者　（役職名）　取締役専務執行役員　　（氏名）　井岡 周久　　（TEL）045（680）1671
半期報告書提出予定日　　2026年11月13日　　配当支払開始予定日　　2026年12月４日
決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：有　（証券アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	11,282	9.7	1,338	△2.5	1,328	△1.6	988	8.7
2026年３月期中間期	10,289	3.8	1,371	△0.3	1,350	△5.9	909	4.5

（注）包括利益　2027年３月期中間期　911百万円（△10.2%）　2026年３月期中間期　1,015百万円（　43.3%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	14.27	―
2026年３月期中間期	12.99	―

（注）潜在株式調整後１株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	30,673	22,934	74.8
2026年３月期	28,060	22,823	81.3

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　22,934百万円　　2026年３月期　22,823百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	8.00	―	10.00	18.00
2027年３月期	―	10.00			
2027年３月期(予想)			―	10.00	20.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　　：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,560	7.7	2,825	9.0	2,775	9.5	2,005	16.7	28.71

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　　：無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　：無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無

②　①以外の会計方針の変更　：無

③　会計上の見積りの変更　：無

④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	69,938,478株	2026年３月期	69,938,478株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	363,927株	2026年３月期	320,458株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	69,295,071株	2026年３月期中間期	70,003,456株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料５ページ「１.経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間連結会計期間の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間連結会計期間の財政状態の概況 …… 4
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 5
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 6
（１）中間連結貸借対照表 …… 6
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 8
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 ……10
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 ……11
（継続企業の前提に関する注記） ……11
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） ……11
（セグメント情報等の注記） ……11

１．経営成績等の概況

（１）当中間連結会計期間の経営成績の概況

①当中間連結会計期間の概況

当社グループは、2024年11月に公表した中期経営計画 “Fly to the next stage!” (2025年３月期から2028年３月期)において、①新たな価値創造の取り組み、②資本コストを意識した経営の強化、③ESG経営の推進に取り組んでおります。また、2025年12月に公表した新たなエクイティストーリー「YAMASHIN FILTER VISION 2030」に記載のとおり、YAMASHIN Nano Filter™ の持つ素材の可能性を最大限活かした参入市場の選定と中期的な成長戦略及び利益目標の策定、社内体制の整備に社内一丸で取り組んでおり、目標時価総額3,000億円の実現に向け、新規事業ポートフォリオの確立と企業価値向上を具現化してまいります。

主力事業である建機用フィルタ事業においては、当中間連結会計期間において、中東情勢に基づく材料費高騰の影響はあるものの、各市場における新車需要が堅調に推移したことや、中期経営計画に掲げた北米市場のシェア拡大戦略の進展により、売上高及び営業利益は過去最高を更新いたしました。

また、中期経営計画に掲げたもう一つの戦略である、環境負荷低減に寄与する素材であるナノファイバーを用いた高付加価値製品の採用拡大についても着実に進展しており、今後、建機用フィルタ事業の持続的な成長と資本効率の更なる改善が見込まれます。

エアフィルタ事業においては、前中間連結会計期間における基幹システムの入れ替えに伴う混乱については収束し、オペレーションの安定化及び供給体制の改善が進んだことにより増収増益となりました。

今後、エアフィルタ事業の再構築と収益性の改善に向け、ロングライフ、低圧損、高捕集率といった高付加価値製品の供給の拡大に向けた取り組みや、直販体制の構築に取り組んでまいります。

新規事業においては、当中間連結会計期間より、「機能素材事業」を事業セグメントとして記載しており、機能テキスタイル分野として、実績のあるアパレル市場への製品供給が開始されております。

機能素材事業の推進にあたり、2025年12月に公表した新たなエクイティストーリー「YAMASHIN FILTER VISION 2030」に記載のとおり、「機能テキスタイル」、「ライフサイエンス」、「産業資材」の３つの分野への参入を視野に入れ、素材開発、販売・マーケティング体制の強化に取り組んでおり、2027年３月期は資本を成長投資に重点配分することで、機能素材事業の確立を加速させてまいります。

今後、事業の進捗に応じたマイルストーンおよびKPIを適時・適切に開示するとともに、年度別の定量目標を明示することで、エクイティストーリーの実現に向けた進捗状況の可視化を図ってまいります。

当社グループは、総合フィルタメーカーとして「環境」「空気」「健康」をテーマに持続可能な社会・経済活動に貢献する企業として社会的責任を果たしてまいります。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は112億82百万円(前年同期比9.7%増)となり、営業利益は13億38百万円(前年同期比2.5%減)、経常利益は13億28百万円(前年同期比1.6%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は９億88百万円(前年同期比8.7%増)となりました。

②連結業績

当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）業績について

（単位：百万円）

	前中間期	当中間期	増減額	増減率
外部売上高	10,289	11,282	993	9.7%
営業利益 （利益率）	1,371 (13.3%)	1,338 (11.9%)	△33	△2.5%
経常利益 （利益率）	1,350 (13.1%)	1,328 (11.8%)	△21	△1.6%
親会社株主に帰属する中間純利益 （利益率）	909 (8.8%)	988 (8.8%)	79	8.7%

売上高については、建機用フィルタ事業において9.7%の増収、エアフィルタ事業において9.1%の増収となったことから、全体では9.7%の増収となりました。

営業利益については、中東情勢に基づく材料費高騰の影響はあったものの、増収等により建機用フィルタ事業が増益となり、エアフィルタ事業も損失が縮小しました。一方、機能素材事業の立ち上げに伴う費用が発生したことから、連結全体では前年同期比2.5%の減益となりました。

③事業セグメント別の売上高と営業利益

（建機用フィルタ事業）（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）業績について

（単位：百万円）

	前中間期	当中間期	増減額	増減率
外部売上高	9,203	10,097	894	9.7%
営業利益 （利益率）	1,473 (16.0%)	1,563 (15.5%)	90	6.2%

売上高については、新車需要の増加により9.7%の増収となりました。

営業利益については、中東情勢に基づく材料費高騰の影響はあったものの増収等の影響により6.2%の増益となりました。

（エアフィルタ事業）（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）業績について

（単位：百万円）

	前中間期	当中間期	増減額	増減率
外部売上高	1,086	1,184	98	9.1%
営業損失（△） （利益率）	△101 (△9.3%)	△26 (△2.3%)	74	－

基幹システムの入れ替えに伴う混乱収束により9.1%の増収及び74百万円の損失の縮小となりました。

（機能素材事業）（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）業績について

（単位：百万円）

	前中間期	当中間期	増減額	増減率
外部売上高	－	0	0	－
営業損失（△） （利益率）	－ (－)	△198 (－)	△198	－

2025年12月に公表した新たなエクイティストーリー「YAMASHIN FILTER VISION 2030」に記載のとおり、2027年３月期より新規事業として機能素材事業を立ち上げたことに伴い、当中間連結会計期間より、「機能素材事業」を事業セグメントとして記載しております。

（２）当中間連結会計期間の財政状態の概況

（流動資産）

当中間連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末比14億４百万円増加（前連結会計年度末比9.0%増）し、170億４百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金が７億12百万円増加（前連結会計年度末比10.6%増）、原材料及び貯蔵品が３億98百万円増加（前連結会計年度末比25.4%増）したことによるものです。

（固定資産）

当中間連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末比12億７百万円増加（前連結会計年度末比9.7%増）し、136億69百万円となりました。その主な要因は、ソフトウエアが３億14百万円増加（前連結会計年度末比116.2%増）、投資有価証券が５億円増加したことによるものです。

（流動負債）

当中間連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末比24億99百万円増加（前連結会計年度末比54.6%増）し、70億75百万円となりました。その主な要因は、短期借入金が20億円増加（前連結会計年度末比125.0%増）したことによるものです。

（固定負債）

当中間連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末比２百万円増加（前連結会計年度末比0.3%増）し、６億64百万円となりました。その主な要因は、退職給付に係る負債が33百万円増加（前連結会計年度末比10.9%増）した一方で、その他が29百万円減少（前連結会計年度末比22.1%減）したことによるものです。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末比１億10百万円増加（前連結会計年度末比0.5%増）し、229億34百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金が２億23百万円増加（前連結会計年度末比2.5%増）した一方で、為替換算調整勘定が76百万円減少（前連結会計年度末比7.3%減）したことによるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年５月15日に公表しました2027年３月期の通期連結業績予想に変更はありません。

※　本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,721,148	7,433,833
受取手形及び売掛金	4,697,256	4,745,112
商品及び製品	2,127,354	2,349,529
原材料及び貯蔵品	1,566,979	1,965,181
その他	486,503	510,487
流動資産合計	15,599,242	17,004,145
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,761,736	4,656,509
機械装置及び運搬具（純額）	1,091,944	1,214,986
工具、器具及び備品（純額）	471,996	557,199
土地	3,636,821	3,636,821
建設仮勘定	939,772	782,464
その他（純額）	278,826	274,533
有形固定資産合計	11,181,096	11,122,515
無形固定資産		
ソフトウエア	270,933	585,667
その他	14,617	11,492
無形固定資産合計	285,551	597,159
投資その他の資産		
投資有価証券	－	500,000
退職給付に係る資産	29,343	20,425
繰延税金資産	314,696	420,778
差入保証金	69,999	69,327
その他	581,032	939,183
投資その他の資産合計	995,071	1,949,714
固定資産合計	12,461,719	13,669,389
資産合計	28,060,961	30,673,535

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,518,217	1,803,912
短期借入金	1,600,000	3,600,000
未払金	433,375	429,135
未払法人税等	302,504	393,627
賞与引当金	282,175	288,448
役員賞与引当金	84,884	43,107
その他	354,131	516,948
流動負債合計	4,575,288	7,075,178
固定負債		
退職給付に係る負債	309,185	342,762
資産除去債務	219,148	217,216
その他	133,964	104,350
固定負債合計	662,298	664,329
負債合計	5,237,586	7,739,508
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,571,382	6,571,382
資本剰余金	6,311,382	6,311,382
利益剰余金	9,062,048	9,285,607
自己株式	△174,646	△210,669
株主資本合計	21,770,166	21,957,702
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	1,053,207	976,324
その他の包括利益累計額合計	1,053,207	976,324
純資産合計	22,823,374	22,934,026
負債純資産合計	28,060,961	30,673,535

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	10,289,647	11,282,998
売上原価	5,691,836	6,284,760
売上総利益	4,597,810	4,998,238
販売費及び一般管理費	3,225,863	3,660,068
営業利益	1,371,947	1,338,169
営業外収益		
受取利息	3,779	10,173
受取配当金	36	36
補助金収入	8,826	8,826
スクラップ売却益	6,828	7,638
損害賠償収入	－	19,488
その他	8,026	3,505
営業外収益合計	27,496	49,668
営業外費用		
支払利息	11,843	23,941
為替差損	12,278	22,663
その他	24,974	12,465
営業外費用合計	49,095	59,071
経常利益	1,350,348	1,328,767
特別利益		
固定資産売却益	390	－
受取保険金	1,401	－
事業構造改革費用戻入額	4,266	－
特別利益合計	6,059	－
特別損失		
固定資産除売却損	287	1,128
事業構造改革費用	18,141	－
特別損失合計	18,428	1,128
税金等調整前中間純利益	1,337,978	1,327,638
法人税等	428,462	339,025
中間純利益	909,516	988,612
親会社株主に帰属する中間純利益	909,516	988,612

中間連結包括利益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	909,516	988,612
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	106,255	△76,883
その他の包括利益合計	106,255	△76,883
中間包括利益	1,015,771	911,729
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	1,015,771	911,729

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,337,978	1,327,638
減価償却費	381,674	436,867
賞与引当金の増減額（△は減少）	△32,869	6,710
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△62,537	△41,777
退職給付に係る資産及び負債の増減額	14,116	42,858
受取利息及び受取配当金	△3,815	△10,209
支払利息	11,843	23,941
為替差損益（△は益）	396	21,084
固定資産除売却損益（△は益）	△103	1,128
損害賠償収入	－	△19,488
受取保険金	△1,401	－
事業構造改革費用	13,874	－
品質保証対応損失引当金の増減額（△は減少）	△8,959	－
売上債権の増減額（△は増加）	△200,875	△95,331
棚卸資産の増減額（△は増加）	△288,160	△652,978
仕入債務の増減額（△は減少）	△43,841	347,509
その他	△74,902	209,313
小計	1,042,417	1,597,267
利息及び配当金の受取額	2,193	10,059
利息の支払額	△10,660	△23,809
法人税等の支払額	△326,384	△350,556
法人税等の還付額	52	5,665
損害賠償金の受取額	－	19,488
受取保険金の受取額	40,478	－
事業構造改革費用の支払額	△49,587	△13,867
営業活動によるキャッシュ・フロー	698,508	1,244,248
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	－	274,500
投資有価証券の取得による支出	－	△500,000
有形固定資産の取得による支出	△251,727	△341,265
有形固定資産の売却による収入	390	－
無形固定資産の取得による支出	△63,341	△286,256
その他	△4,084	△2,286
投資活動によるキャッシュ・フロー	△318,763	△855,307
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	900,000	2,000,000
長期借入金の返済による支出	△201,690	－
リース債務の返済による支出	△47,494	△55,534
配当金の支払額	△496,274	△695,654
自己株式の取得による支出	△1,273,365	△592,675
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,118,825	656,135
現金及び現金同等物に係る換算差額	19,432	△56,390
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△719,647	988,684
現金及び現金同等物の期首残高	5,762,076	6,445,148
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,042,428	7,433,833

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

（自己株式の取得）

当社は、2026年５月15日開催の取締役会に基づき、自己株式1,000,000株の取得を行いました。この結果、当中間連結会計期間において自己株式が589,855千円増加しております。

（自己株式の処分）

当社は、2026年６月24日開催の取締役会決議に基づき、2026年７月21日付で、譲渡制限付株式報酬として自己株式956,574株の処分を実施いたしました。この結果、当中間連結会計期間において自己株式が553,856千円減少し、利益剰余金が68,873千円減少しております。

以上の結果、単元未満株式の買い取りによる取得も含め、自己株式が210,669千円、利益剰余金が9,285,607千円となっております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ．前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				中間連結損益計算書計上額（注）
	建機用フィルタ事業	エアフィルタ事業	機能素材事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	9,203,271	1,086,375	－	10,289,647	10,289,647
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	9,203,271	1,086,375	－	10,289,647	10,289,647
セグメント利益又は損失（△）	1,473,009	△101,061	－	1,371,947	1,371,947

（注）セグメント利益又は損失（△）の金額は、中間連結財務諸表の営業利益と一致しております。

Ⅱ．当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				中間連結損益計算書計上額（注）
	建機用フィルタ事業	エアフィルタ事業	機能素材事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	10,097,494	1,184,884	619	11,282,998	11,282,998
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	10,097,494	1,184,884	619	11,282,998	11,282,998
セグメント利益又は損失（△）	1,563,770	△26,718	△198,882	1,338,169	1,338,169

（注）セグメント利益又は損失（△）の金額は、中間連結財務諸表の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

2025年12月に公表した新たなエクイティストーリー「YAMASHIN FILTER VISION 2030」に記載のとおり、2027年３月期より新規事業として機能素材事業を立ち上げたことに伴い、当中間連結会計期間より、新たに「機能素材事業」を事業セグメントとして識別し、報告セグメントとして新設し記載する方法に変更しております。